
「さっちゃん」 in グラインドハウス

ぱぴふぺ河野

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

「さっちゃん」 in グラインドハウス

【Nコード】

N8850L

【作者名】

ぱぴぷへ河野

【あらすじ】

児童虐待ってテレビは騒ぐけど、本当に世間から虐待を減らす気があるかどうかは全く持って不明である。と河野夜兎は思ってるらしいよ。

「さっちゃんという童謡は、世間に児童虐待を助長し発信している極悪非道な歌であると僕は思います！」

テレビの中で、とある有名なコメンテーターが声を高々にあげてそう主張した。

そして、続けてこう持論を展開し饒舌に語りだした。

「特に注目して欲しいのはさっちゃんの二番の歌詞であります。さっちゃんは、バナナが大好きと自らの好みを主張しているにも関わらず、バナナを半分しか食べさせて貰えない！幼子であるとはいえど、好物であるバナナを腹一杯ではなく、半分しか親に与えて貰えないとは！」

コメンテーターは立ち上がり、机をどんっ！と叩き、

「これはもう、まさに児童虐待ですよ！これを虐待と取れず、楽しみに歌う人間ははつきり言って頭がイカれてますね！そして、こんな虐待助長ソングを純粋な子供に歌わせてるなんて、もう、恐ろしいといしか言い様がありませんよ！」

コメンテーターはかなり興奮状態である。

「大体虐待なんてものは、人類の悪でしかない。虐待をした人間は皆有無を言わさずに死刑にすべきだ。そう思いませんか？」

コメンテーターは司会者にそう尋ねた。

「そうですね、虐待は決して許される事ではありませんね」

「でしょっ！それをわかっていながら、何故人はこんな極悪非道な行為を野放しにしているのか、私には全く持つて理解できませんね！」

コメンテーターは更に声を荒げた。

「でも、さっちゃんは…、本当に児童虐待を助長する歌かどうか…」

「助長する歌に決まってるでしょ？あんた、マジで頭おかしいよね？一体何年情報番組の司会者やってんの？」

コメンテーターは舌打ちをして眉間にしわを寄せて若干キレそうになりながら鼻をフンッと鳴らした。

「さっちゃんはね、バナナが大好き、本当はねって、幼い胸の内を明確に明かしているじゃないか！それなのに！それなのにっ！」

コメンテーターは涙ぐみながらテーブルの上で両拳を握りしめた。

「…親からバナナを半分しか食べさせて貰えないなんて……」
落胆混じりの悲痛なうめき声を漏らした。

「さっちゃんはきつと、一日の食事でバナナを半分しか食べさせて貰えない過酷な生活を強いられていたんですよ…」

「い、いや…。そうでしょうか…？」

司会者は変な汗をかいた。

「そうに決まってます！そんな健気なさっちゃんに親はさぞ楽しげに殴る蹴るの暴行を加えて、てめえなんか産むんじゃない！とか、お前のせいで私はこんなにも不幸なんだとか！私の人生を返せ！死ね！とか罵声を浴びせていたんですよ！」

「……………」

司会者はどう返答したらいいのかわからずに黙り込んだ。

「さっちゃんは虐待されてたんですよ！そんなこともわからずにのんきに歌ってる人間は、社会は狂ってますよ！」

コメンテーターはカメラに向かって指をさして言い切った。

「い、一旦CMです…」

司会者はADの翳すスケッチブックを見て、仕切りをいれた。

CM中、スタジオでは。

「速報入りました！CM明け、中継繋がりますので！」 ADが司会者に紙を渡した。

司会者は速読し、つぶやいた。

「また虐待死亡のニュースか…」

このタイミングで面倒クサイというのが彼の心情である。

CM明け。

「ここで臨時ニュースが入りました。つい先ほど、〇県×市の〇〇のアパートで4歳の幼児が死亡。母親と内縁の夫が虐待の疑いで〇県警に――、放送内容を変更します。中継先の小木さん」

中継が繋がり、リポーターと事件のアパートが映る。

「あー、ここ、僕の家のかい。そう言えば、ずっと毎晩ドタバタうるさくて本っ当に鬱陶しかったんだよねー。壁、防音にリフォームしようと思ってたけど、静かになったならよかったよかった」
コメンテーターはやれやれと胸を撫で下ろして笑った。

番組を観ていた夜兎は、「世の中なんて、こんなもんだよね」

と失笑してテレビの電源を切った。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8850/>

「さっちゃん」 in グラインドハウス

2010年10月15日23時30分発行